

2018年活動スローガン 「世界の子ども達へ 愛の架け橋 いつまでも」



報 告

2018年7月～9月支援分

〈バングラデシュ〉

- 学校校舎建設
三津出義博様の寄付により建設されたカパシア郡のロハディ中学校(4教室)校舎が完成
- トイレ寄付
会員有志の方よりカパシア郡の学校へトイレ5基
- その他の寄付
大阪西ロータリークラブよりYURIKOエンゼルスクールへコンピューター10台、職業訓練所へミシン25台

〈スリランカ〉

8月に「スリジナラタナ社会福祉協会」への奨学金基金として同代表のニャナーランカーラ氏を通じて20万円を寄付

〈国内活動〉

西日本豪雨災害の被災者支援のため、倉敷市真備町と総社市へ衣類を届けました

イベント情報

10/17 (水)

秋のチャリティバザー

場所: 本協会ボランティアセンター(伊丹市)
時間: 10:00～14:00

1/20 (日)

ニューイヤーコンサート2019 ～バングラデシュに学校を建設しよう～

場所: 伊丹アイフォニックホール
時間: 14:00 開演
内容: コーラス/混声合唱団「エンゼル」
＜友情出演＞ フラダンス「フラ ハラウ オ カレイレフラ」

入場無料 募金のご協力をお願いします

●チャリティバザーにご協力ください●

バザーで販売する品物のご提供をお願いしています。食器・なべ類、寝具、タオル、衣料、食料品、石鹸、カバン、おもちゃなどいつでも受け付けています。事務所までご連絡下さい。

☆取り扱っていないもの☆ 大型家具、電化製品、使用済み食器等

編集後記

今年の夏は地震、大雨、猛暑、台風と自然の力に圧倒されました。被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。一方で、良いニュースもありました。サッカーワールドカップでは前評判を覆しての好成績に日本中が沸きました。学校や公園でよく見かける、サッカーをする子ども達も日本代表の雄姿に憧れたことでしょうか。そんな彼らの中から世界に羽ばたく選手が出てくることを願っています。

2018年 行事予定

10月現在

10月	17日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
	21日(日)	ノクシカタ販売	吉川温泉 よかたん	三木市
	21日(日)	ノクシカタ販売	山之口商店街	堺市
	23日(火)～29日(月)	チャリティバザー	高円寺ギャラリーR	東京都
	23日(火)	ノクシカタ販売	イオンスタイル大津京	大津市
	27日(土)	ノクシカタ販売	堺市総合福祉会館	堺市
	28日(日)	チャリティバザー	大阪青山大学	箕面市
11月	30日(火)	ノクシカタ販売	アスバ高砂	高砂市
	4日(日)	チャリティバザー	三木金物まつり	三木市
	4日(日)	チャリティバザー	東光寺門戸厄神	西宮市
	7日(水)	チャリティバザー	垂水駅前東広場	神戸市
	8日(木)	ノクシカタ販売	住吉大社	大阪市
	11日(日)	ノクシカタ販売	メッセみき	三木市
	20日(火)	チャリティバザー	JR六甲道南公園	神戸市
	24日(土)	チャリティバザー	和歌山ビックホエール	和歌山市
	30日(金)	チャリティバザー	アスバ高砂	高砂市
	14日(金)～19日(水)	ノクシカタ販売	ギャラリー六軒茶屋	宝塚市

※行事予定はホームページ上にも掲載、随時更新しています。

会員募集

本協会の活動は皆様の会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円
特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員(教育里親)

1ヵ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。

郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号

01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよりしくお願いします。

会員数: 一般会員 698名

DCEF会員 728名

(10月1日現在)

ANGEL NEWS

通巻185号
2018.10① バングラデシュ・ファミリーツアー
② 国内のボランティア活動

チャリティバザー開場前

開門の2時間以上も前からお客様の列ができ、チャリティバザーを楽しみにたくさんの方々が来場されます。国際エンゼル協会では毎年春と秋に大きな規模のチャリティバザーを開催しており、お手伝いの方も含めると約1,500人の方で賑わいます。バザー会場には大小様々な品物が並び、たこ焼きや焼きそばなどの模擬店も出てお祭りのような雰囲気です。このようなバザーを開催するにあたって品物を集めることは毎回大変なことなのですが、ご近所の方が持って来て下さったり遠方から宅配便で送って下さったりと、本当にたくさんの方の善意でバザーは成り立っています。

開催日の1～2か月前からご近所にチラシを配って、バザーのお知らせや品物の提供をお願いしています。ある時、小さな女の子を連れてお母さんがたくさんのおもちゃを持って来られたことがありました。「この子が遊んでいたおもちゃなんですが、こちらで役立てて下さったらと思って持ってきました」と言って子どもに「おもちゃにありがとうを言ってバイバイしようね」と話し、女の子はぬいぐるみ達にさよならを言って手渡してくれました。そんな微笑ましい光景にこちらも温かい気持ちになりました。

多くの方々のご協力によって生み出される売り上げすべてがバングラデシュなど途上国の子ども達や女性の支援に役立てられます。『世界の子ども達へ 愛の架け橋 いつまでも』10月17日のバザーに向けて私達も気持ちを一つにして頑張ります。

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。



バングラデシュ

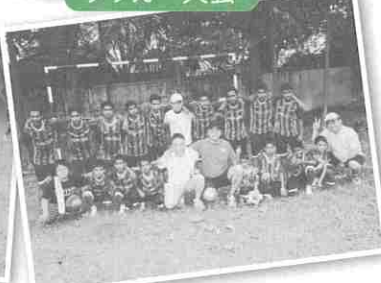
ファミリーツアー

8/4~11日

今回のファミリーツアーは小学生のお子さんから大学生、社会人の方など幅広い年齢層の方が参加され、スリジョニの子ども達との運動会や学校校舎の竣工式、その他盛り沢山の内容のツアーでした。参加者の皆さんは体調を崩すことも無く充実した時間を過ごされました。

スリジョニの
子ども達との運動会エンゼルホームの
子ども達との交流会

サッカー大会



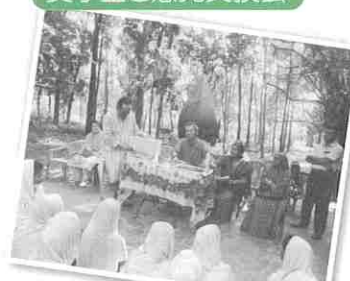
子ども達との夕食会



YAS見学



奨学生と意見交換会



参加者の感想：久保田智也さん(20歳)

※YAS=YURIKO エンゼルスクール

今回のバングラデシュが初めての海外旅行でした。出発前は不安でしたが、エンゼルホームに着いた瞬間からその不安が楽しみに変わりました。子ども達とのふれあいや、一緒に行ったメンバーが皆最高！ご飯もカレーばかりと聞いて心配だったけど、少し辛いけどそこがまた美味しかったです。給仕してくださるオムロさんがとてもとても勤め上手でした(笑)。そのオムロさんが豪快に剥いてくれるジャックフルーツがまた美味しくて、滞在中はずっと食べていました。男の子の部屋に遊びに行き一緒にクリケットやサッカーの話をしたり、日本語のレッスンをするなど、子ども達との交流がとても楽しかったです。また参加者メンバーと「世界に一つだけの花」の振り付けを練習して、最後のお別れ会で披露できて良かったです。慣れない踊りをみんな一生懸命練習してくれて、終わった後は達成感でいっぱいでした。思い出いっぱいの今回のツアー、最終日は子ども達との別れが辛かったです。

バングラデシュは発展途上国で貧しいイメージでしたが、実際に来ると想像よりも進んでいると感じました。今後ますます発展していけるのではないかと思います。まずは道路の整備から始まると良いですけど(笑)。本当に今回バングラデシュに来てたくさん学ぶ事がありました。是非また来たいと思います。最高に楽しかったです。



久保田さん(写真中央)



学校校舎の竣工式

この度学校校舎建設資金を寄付してくださった会員の方が完成した校舎の竣工式に参加し、生徒達や先生方に向けてご自身の思いを話されました。英会話スクールを経営されていた奥様が3年前に癌で亡くなり、その奥様への愛情が学校校舎建設の寄付に繋がったそうです。以下お話の一部を抜粋して紹介します。

みなさんこんにちは！私はこの度、この学校建設に協力させていただいた三津出といいます。私の妻は3年前に癌で亡くなりました。生前、彼女は英会話スクールの先生をしていました。レッスン内容はとてもパワフルで息つく暇もないくらいエキサイティングで楽しく、大変人気のある教室でした。私が今まで出会った先生の中で世界一の先生だと思っています。

半年前に私は鍬入れ式の為にこの学校を訪問した後に、9名の生徒さんと交流会を行いました。そこでみなさんに『将来何になりたいですか？』という質問をしました。その質問に対して4名の生徒さんが『医者になりたい』と言いました。理由を尋ねると『医者になって苦しんで困ってる人達を助きたい』と…。学生の中から自分の将来を見据えそして社会への貢献を誓う子供たちを沢山抱えるこのバングラデシュは、近い将来もっともっと豊かになるであろうと心から確信しました。将来この学校で学んだ生徒の中から世界に羽ばたくような活躍をする若者が誕生することを、心から楽しみにしています。

最後になりますが、交流会の時に一人の女生徒が『学校の先生になりたい』と言いました。私は彼女には『エキサイティングで楽しい授業を行う、誰からも愛されるバングラデシュで一番の、いや亡き妻を超える世界一の先生になってほしい！』と、強く願います。

未来あるバングラデシュ。そしてそこに住む未来ある子ども達のため、引き続き出来る限りの協力をしていきたいと思うと共に、また皆様と再会できることを私自身の人生の励みにしていきたいと思います。今日は、たくさんの方にお集まりいただきそしてたくさんの素敵な笑顔とパワーをありがとうございました。

ドンバ(訳：ありがとうございます)

三津出 義博



バングラデシュ紹介

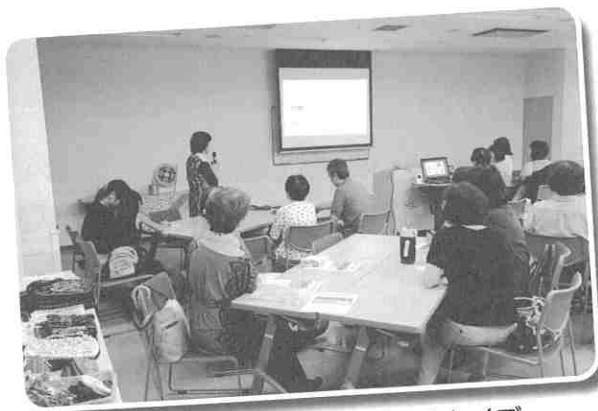
バングラデシュを多くの方に知ってもらうため、ボランティアの方が中心になって様々なイベントや展示会などを行っています。「自分達もやってみたい」など何かありましたら、ぜひ一度ご相談ください。より多くの方に私達の大好きなバングラデシュを知っていただければと思います。

楽しい国際交流 ～バングラデシュってどんな国?～

7/28
男女共同参画センター・
ウエーブ(西宮市)



国際エンゼル協会が長年支援活動を行っているバングラデシュの生活様式や服装、習慣などをビデオやスライドを交えてわかりやすく紹介しました。また民族衣装サリーの着付けのデモンストレーションや現地の伝統的な手芸品であるノクシカタ刺しゅうを紹介するビデオを上映しました。参加者の方々は興味深く話を聞かれ質問も活発に出ました。子どもから年配の方まで幅広い年代の方々が参加され、知っているようであまり知られていないバングラデシュのことに触れる楽しい時間を過ごすことができました。



バングラデシュにまつわるクイズ



6mほどある長い布を
巻きつけサリーを着付けます

参加者・スタッフの声



こんなきれいな衣装が着れて
嬉しかったです。学校でみん
なに話したいです。

長い間ボランティアで国際エ
ンゼル協会に関わって来まし
たが、まだまだ知らないこと
がたくさんありました。

緑が美しく、人が笑顔で暮ら
している農村の風景を見てバ
ングラデシュに行ってみた
くなりました。

とても勉強になりました。夏
休みの自由研究で発表した
いと思います。

パネル展示

～世界に目を向けよう今私達にできること～

8/18～19
さいたまサポートセンター
(埼玉県)

8/25～26
さいたまプラザイースト
(埼玉県)



さいたまプラザイーストでのパネル展示

毎年さいたま市で公共の会場をお借りして、バングラデシュを紹介するパネル展示を行っています。国内外の支援活動に興味を持って訪れる方々と意見交換を行ったり、ユニセフや人権問題の啓発を行っている団体などと共にそれぞれのブースで活動紹介を行っています。

今回も小学生から年配の方まで多くの来場者があり、活動紹介のパネルやエンゼルホームの子ども達を書いたベンガル語のメッセージカードに興味深く見て行かれました。

学校訪問

～バングラデシュを知ろう～

9/11
大阪府立山田高校
(吹田市)



吹田市にある大阪府立山田高校へ2005年より毎年バングラデシュを紹介するための特別授業に行っています。授業は高校3年生で生活文化科目を選択している生徒達を対象に、外国の生活様式や着る物、食事などを調べて体験し、異文化を学ぶ目的で行われています。

毎回バングラデシュを紹介するスライドやワークショップ、サリーの着付け体験などを行っており、生徒達は初めて触れるバングラデシュの生活や文化に興味を示し、熱心にノートを取っています。また、女子生徒2人がペアになりサリーを着せ合い、きれいに着ることができた後は喜んで写真を撮り合っていました。こうした機会からバングラデシュに興味を持ち、ボランティアや海外援助に関心を持ってもらえることを願っています。



ワークショップ

バングラデシュの生活について
グループで考えます



ペアになってサリーを着せ合います

活動紹介

～ノクシカタ刺しゅう製品販売～

東京のお台場で開催されている「グローバルフェスタJAPAN」は、国際協力を行っている全国のNGO団体、JICAなどの外務省関係や企業などが一堂に集まり、それぞれの活動紹介や物品販売を行っています。今年も関東方面の会員の方々が中心となって出展し、楽しい交流の場となりました。

9/29～30
グローバルフェスタ
JAPAN2018
(東京都)

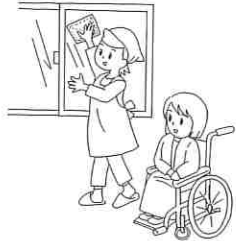


国内ボランティア

当協会のボランティアの方々は、バザーやノクシカタ販売だけでなく他にも様々な活動をしています。その一つに障害者支援施設へのボランティアがあります。利用者さんとの関わりを楽しみに、メンバーの方は毎回ボランティアに励んでいます。

清掃ボランティア

障害者施設のお掃除を手伝いに行きます。午後からは利用者さんのレクリエーションに参加しています。



『清掃ボランティアに参加して』

7月に祖母から誘われて希望の家の清掃ボランティアに参加しました。6年前の小学2年生の頃に参加した時は障害者の事や施設について深く考えてはいませんでした。今回は色々考える事ができました。人によって車いすの形が違い、自分の手や足を使って移動している人や電動車いすの人、職員の方に押してもらっている人など、それぞれが個々の障害に合わせて生活されていました。一人ひとりにあった生活環境のお陰で生活も充実していると思います。皆さん笑顔で明るく話しかけてくださいました。その中に6年前に会った事を覚えてくださっている方がいて、「大きくなったねえ」と話しかけてくれました。一度会っただけなのに覚えていてくれて、とても嬉しかったです。普段なかなかできない体験ができて夏休みのいい思い出になりました。(T君)

『買い物ボランティアを続けています』

私の孫も障害を持って生まれ、成長していく過程で多くの人に助けられてきました。そして私も同じように誰かの手助けができればと思い、この買い物ボランティアに参加するようになりました。利用者さんは買い物の日までに自分が何を買いたいか、職員さんと話されてきます。当日はその買い物メモをもとに、「こんな色がいいね」とか「この形もオシャレですね」など言いながら、ワイワイ楽しくお店を回ります。昼食後も買い物したり、おやつにタコ焼きやポテトなど食べながら話をしたりして、一日ゆっくりとした時間を過ごします。後日清掃ボランティアに行った時に「この前買ったものだよ」と言って嬉しそうに見せて下さったりします。楽しい一日をいつもありがとうございます。(Oさん)

買い物ボランティア

障害者の方の買い物に付き添い、お手伝いをしたり買物の相談に乗ったりしています。



手芸ボランティア

障害者施設にて2ヶ月に一回、手芸サークルを開催しています。



『楽しい手芸ボランティア』

「こんにちは」いつも元気いっぱいな声に迎えられて手芸サークルが始まります。毎回20名前後の利用者の方が参加されています。皆さん慣れない手つきですが一生懸命されており、1~2時間かけて作品を仕上げています。私達はいつも準備の段階で障害をお持ちの方でも楽しく作れるように、また時間内に作れるようにと工夫し、男性用女性用と色合いなども考えています。当日まで心配なことは色々ありますが、いざ始めてみるとご自身で色々工夫され、アイデアを出されてとても素敵な作品に仕上がられています。2ヶ月に一度の手芸ボランティアもう9年目となりました。これからも利用者の方に喜んでいただけるよう、また準備する私達も楽しみながら続けられるよう、頑張っていきたいと思ひます。作品のアイデアなどお持ちでしたら是非お知らせください。よろしくお願いします。(Tさん)

DCEFだより

奨学生からの便り — バングラデシュ



こんにちは。私の名前はラセル・モハマドです。私は8人兄弟で、6年生の2006年から国際エンゼル協会の奨学金の支援を受けてきました。現在私は大学3年生で生化学・分子生物学を専攻しています。

国際エンゼル協会の皆様からのご支援は、もっと勉強を頑張っていかなければという思いを強くしてくれます。日本から支援して下さっている皆様には感謝しかありません。将来は生化学・分子生物学の分野で進んでいる日本で学び、いつの日かその学んだ知識を自国の役に立てたいと考えています。そして、私のような教育支援が必要な学生の支援をしていきたいと考えています。

国際エンゼル協会のボランティアの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。



ラセル・モハマド
(マオラナ・バジャニ科学大学3年生)

DCEF (ディセフ)とは…
[Developing Country Educational Fund]

経済的に恵まれない発展途上国の子ども達に教育援助を行う里親制度。奨学金の供与や学校校舎の建設・設備の充実、農村女性を対象にした識字教室等を行っています。また、バングラデシュ以外に、フィリピン、スリランカなどの子ども達にも支援しています。

No.29

エンゼルホームの子ども絶ア ナディアちゃん Nadia Akter (16才)



ナディアちゃんは小さい時にお父さんを亡くし、お母さんと弟と暮らしていました。しかし経済的にとても厳しくなり、彼女が8才の時にエンゼルホームに預けられ生活することになりました。入った当初は少し人見知りをしていましたが、エンゼルホームの先輩達に優しく受け入れられてしだいに明るくなり、今では勉強もスポーツも積極的に頑張っています。ダンスが得意でイベントなどでは、しなやかで軽快なダンスを披露してくれます。



ダンスを披露するナディアちゃん(右)

現在YURIKOエンゼルスクール9年生のナディアちゃん、これからも勉強を頑張って看護師になる夢を叶えて下さい。

◎ナディアちゃんにいろいろ質問してみました

- Q 一番好きな科目は・・・算数
- Q 好きなスポーツは・・・バスケットボール
- Q 最近一番うれしかったことは?・・・ファミリーツアーで日本の方達と一緒に楽しく遊んだこと
- Q 将来の夢・・・看護師
- Q 日本について知ってること・・・日本の踊りと歌(以前来られた日本の方に教えていただきました)